

令和8年度（令和7年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）
中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
数学

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
 - 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。
- また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

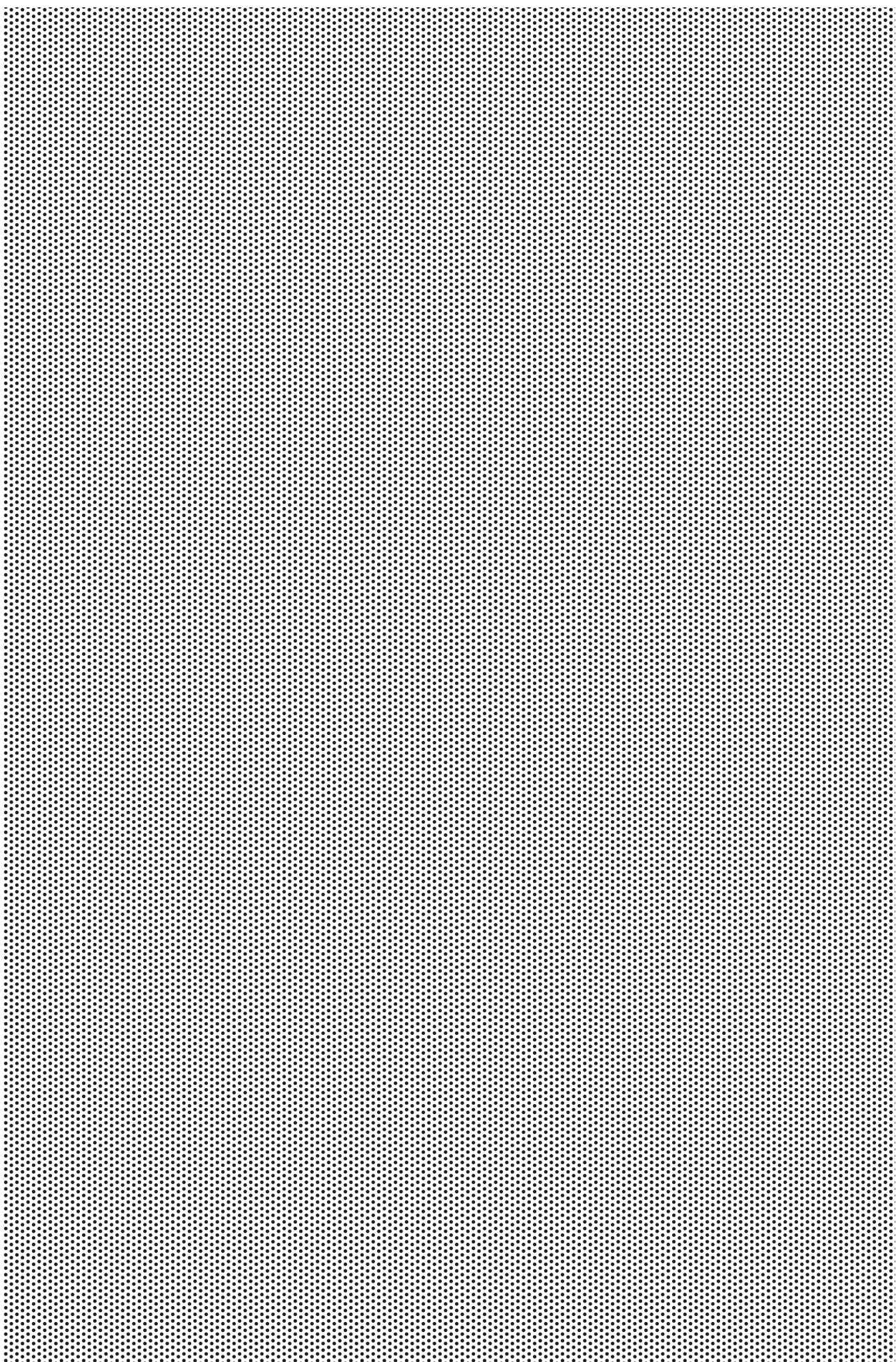
※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

受審番号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

記入例

（受審番号 1 2 3 4 5 の場合）

- この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問

- (1) 集合Sの要素の個数をn(S)とし、Sの補集合を \bar{S} で表す。

1から30までの範囲で、素数の集合をA、2の倍数の集合をB、5の倍数の集合をCとするとき、

$$n(A) = \boxed{\text{アイ}}, \quad n(\bar{A} \cap \bar{B} \cap \bar{C}) = \boxed{\text{ウ}} \text{である。}$$

- (2) 2次関数 $y = x^2 - 2ax + 3$ ($0 \leq x \leq 1$) (a は定数) の最小値が0であるとき、 a の値は $\boxed{\text{エ}}$ である。

- (3) $\triangle ABC$ の内心をI、直線CIと辺ABの交点をDとする。

$AB = 8, BC = 9, CA = 7$ のとき、

$CI : ID$ を最も簡単な整数の比で表すと $\boxed{\text{オ}} : \boxed{\text{カ}}$ となり、

$\cos A$ の値は $\frac{\boxed{\text{キ}}}{\boxed{\text{ク}}}$ 、内接円の半径の値は $\sqrt{\boxed{\text{ケ}}}$ である。

- (4) あるテストを行ったところ、

Aグループ5人の得点は、48, 47, 69, 49, a (点)

Bグループ5人の得点は、43, 66, 62, 38, 46 (点)

であり、Aグループの得点の平均値は、55 (点) であった。

a の値は $\boxed{\text{コサ}}$ である。

また、Bグループの得点の平均値は $\boxed{\text{シス}}$ (点)、分散は $\boxed{\text{セソタ}} \cdot \boxed{\text{チ}}$ である。

- (5) 先生2人と生徒4人が合計6人が円形のテーブルに着席するとき、

先生2人が隣り合う並び方は $\boxed{\text{ツテ}}$ 通り、

先生2人が向かい合う並び方は $\boxed{\text{トナ}}$ 通りである。

第2問

- (1) a, b を実数とする。3次方程式 $x^3 - 4x^2 + ax + b = 0$ が $1+2i$ を解にもつとき,
 他の解は ア イ i と ウ であり,
 実数の定数 a の値は エ , b の値は $-$ オカ である。

(2) 2つの円 $x^2 + y^2 - 2y - 4 = 0 \cdots ①$

$$x^2 + y^2 - 6x - 4y + 8 = 0 \cdots ②$$

の2つの共有点を通る直線の方程式は, $y = -$ キ $x +$ ク $\cdots ③$

直線③と y 軸との交点Aを通り, 円②に接する接線の方程式は,

$$y = -\frac{\begin{array}{c} \text{ケ} \\ \hline \text{コ} \end{array}}{\begin{array}{c} \text{ク} \\ \hline \text{コ} \end{array}} x + \begin{array}{c} \text{ク} \\ \hline \text{コ} \end{array} \text{ と } y = -\frac{\begin{array}{c} \text{サシ} \\ \hline \text{コ} \end{array}}{\begin{array}{c} \text{ク} \\ \hline \text{コ} \end{array}} x + \begin{array}{c} \text{ク} \\ \hline \text{コ} \end{array} \text{ であり,}$$

点Aと接点との距離は, ス $\sqrt{}$ セ である。

(3) 関数 $y = \log_2 x + \log_2(32-x)$ の最大値は ノ ,

そのときの x の値は タチ である。

(4) 関数 $f(x) = 3x^2 - 2 \int_{-1}^1 xf(t) dt$ をみたす $f(x)$ は,

$$f(x) = \begin{array}{c} \text{ツ} \\ \hline \text{テ} \end{array} x^2 - \begin{array}{c} \text{テ} \\ \hline \text{ト} \end{array} x + \begin{array}{c} \text{ト} \\ \hline \text{ト} \end{array} \text{ である。}$$

第3問

1 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると

$$S_n = 4n - 3a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots) \text{ である。}$$

(1) a_{n+1} を a_n の式で表すと, $a_{n+1} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} a_n + \boxed{\text{ウ}}$ である。

(2) 数列 $\{a_n\}$ の一般項は, $a_n = -\boxed{\text{エ}} \left(\frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}} \right)^{n-\boxed{\text{キ}}} + \boxed{\text{ク}}$ である。

(3) $n \rightarrow \infty$ のとき, $a_n \rightarrow \boxed{\text{ケ}}$ である。

2 ある自治体における高校2年生の身長が平均164.2cm,

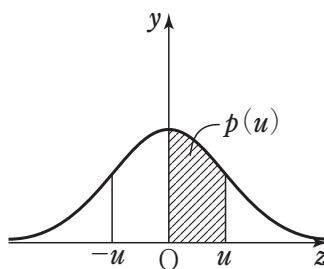
標準偏差5.2cmの正規分布に従うとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 身長が160cm以上168cm以下の生徒は, 4ページの標準正規分布表を利用し,
小数第1位を四捨五入して整数値で求めると, 約 $\boxed{\text{コサ}}$ % いる。

(2) 身長の低い方から3%の中に入るのは, 4ページの標準正規分布表を利用して,
最も大きい整数値で求めると, 約 $\boxed{\text{シスセ}}$ cm以下の生徒である。

標準正規分布表

次の表は、標準正規分布の分布曲線における右図の斜線部分の面積の値をまとめたものである。



u	.00	.01	.02	.03	.04	.05	.06	.07	.08	.09
0.0	0.0000	0.0040	0.0080	0.0120	0.0160	0.0199	0.0239	0.0279	0.0319	0.0359
0.1	0.0398	0.0438	0.0478	0.0517	0.0557	0.0596	0.0636	0.0675	0.0714	0.0753
0.2	0.0793	0.0832	0.0871	0.0910	0.0948	0.0987	0.1026	0.1064	0.1103	0.1141
0.3	0.1179	0.1217	0.1255	0.1293	0.1331	0.1368	0.1406	0.1443	0.1480	0.1517
0.4	0.1554	0.1591	0.1628	0.1664	0.1700	0.1736	0.1772	0.1808	0.1844	0.1879
0.5	0.1915	0.1950	0.1985	0.2019	0.2054	0.2088	0.2123	0.2157	0.2190	0.2224
0.6	0.2257	0.2291	0.2324	0.2357	0.2389	0.2422	0.2454	0.2486	0.2517	0.2549
0.7	0.2580	0.2611	0.2642	0.2673	0.2704	0.2734	0.2764	0.2794	0.2823	0.2852
0.8	0.2881	0.2910	0.2939	0.2967	0.2995	0.3023	0.3051	0.3078	0.3106	0.3133
0.9	0.3159	0.3186	0.3212	0.3238	0.3264	0.3289	0.3315	0.3340	0.3365	0.3389
1.0	0.3413	0.3438	0.3461	0.3485	0.3508	0.3531	0.3554	0.3577	0.3599	0.3621
1.1	0.3643	0.3665	0.3686	0.3708	0.3729	0.3749	0.3770	0.3790	0.3810	0.3830
1.2	0.3849	0.3869	0.3888	0.3907	0.3925	0.3944	0.3962	0.3980	0.3997	0.4015
1.3	0.4032	0.4049	0.4066	0.4082	0.4099	0.4115	0.4131	0.4147	0.4162	0.4177
1.4	0.4192	0.4207	0.4222	0.4236	0.4251	0.4265	0.4279	0.4292	0.4306	0.4319
1.5	0.4332	0.4345	0.4357	0.4370	0.4382	0.4394	0.4406	0.4418	0.4429	0.4441
1.6	0.4452	0.4463	0.4474	0.4484	0.4495	0.4505	0.4515	0.4525	0.4535	0.4545
1.7	0.4554	0.4564	0.4573	0.4582	0.4591	0.4599	0.4608	0.4616	0.4625	0.4633
1.8	0.4641	0.4649	0.4656	0.4664	0.4671	0.4678	0.4686	0.4693	0.4699	0.4706
1.9	0.4713	0.4719	0.4726	0.4732	0.4738	0.4744	0.4750	0.4756	0.4761	0.4767
2.0	0.4772	0.4778	0.4783	0.4788	0.4793	0.4798	0.4803	0.4808	0.4812	0.4817
2.1	0.4821	0.4826	0.4830	0.4834	0.4838	0.4842	0.4846	0.4850	0.4854	0.4857
2.2	0.4861	0.4864	0.4868	0.4871	0.4875	0.4878	0.4881	0.4884	0.4887	0.4890
2.3	0.4893	0.4896	0.4898	0.4901	0.4904	0.4906	0.4909	0.4911	0.4913	0.4916
2.4	0.4918	0.4920	0.4922	0.4925	0.4927	0.4929	0.4931	0.4932	0.4934	0.4936
2.5	0.4938	0.4940	0.4941	0.4943	0.4945	0.4946	0.4948	0.4949	0.4951	0.4952
2.6	0.49534	0.49547	0.49560	0.49573	0.49585	0.49598	0.49609	0.49621	0.49632	0.49643
2.7	0.49653	0.49664	0.49674	0.49683	0.49693	0.49702	0.49711	0.49720	0.49728	0.49736
2.8	0.49744	0.49752	0.49760	0.49767	0.49774	0.49781	0.49788	0.49795	0.49801	0.49807
2.9	0.49813	0.49819	0.49825	0.49831	0.49836	0.49841	0.49846	0.49851	0.49856	0.49861
3.0	0.49865	0.49869	0.49874	0.49878	0.49882	0.49886	0.49889	0.49893	0.49897	0.49900

第4問

1 平面上の3点A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})について

$$\vec{a} + \vec{b} = \vec{c}, \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = -3, \quad \vec{b} \cdot \vec{c} = 6, \quad \vec{c} \cdot \vec{a} = 2$$

が成り立っているとき、次の問い合わせに答えなさい。

(1) $|\vec{b}|$ の値は , $|\vec{c}|$ の値は $\sqrt{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

(2) 内積 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$ の値は である。

(3) $\triangle ABC$ の面積は である。

2 サイクロイド曲線

$x = 3(t - \sin t)$, $y = 3(1 - \cos t)$ ($0 \leq t \leq 2\pi$) がある。

(1) この曲線上の $t = \frac{\pi}{3}$ における点で接する接線の方程式は

$$y = \sqrt{\boxed{\text{キ}}} x + \boxed{\text{ク}} - \sqrt{\boxed{\text{ケ}}} \pi \text{ である。}$$

(2) この曲線の長さは、 である。

【選択問題 中学校】

第5問

以下の問い合わせ、『中学校学習指導要領』とは「『中学校学習指導要領』（平成29年3月文部科学省告示）第2章 第3節 数学」を指すものとする。

(1) 次の文章は、『中学校学習指導要領』における「第1 目標」の記述である。

文中の **ア** ~ **エ** に該当する語句を、それぞれ下の a ~ e から一つ選びなさい。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に **ア** 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を **イ** したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に **ウ** 力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや **エ** を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

- | | | | |
|----------|--------|-------|--------|
| ア | a 考察する | b 考える | c 解釈する |
| | d 見通す | e 捉える | |

- | | | | |
|----------|----------|----------|-------|
| イ | a 具体化 | b 抽象化 | c 数学化 |
| | d 数学的に理解 | e 数学的に整理 | |

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| ウ | a 理解する | b 判断する | c 見いだす |
| | d 処理する | e 表現する | |

- | | | | |
|----------|-----------------|------------------|----------|
| エ | a 数学的な見方・考え方のよさ | b 数学的な見方・考え方の有用性 | |
| | c 数学の有効性 | d 数学のよさ | e 数学の有用性 |

(2) 『中学校学習指導要領』における「第2 各学年の目標及び内容」の〔第3学年〕の「2 内容」において、取り組むものとして示されている数学的活動が三つある。

その数学的活動三つを含む組み合わせとなっているものを、下の①～⑨の中から一つ選ぶと オ である。

- a 数学を活用して自ら問題を見いだし、解決するための構想を立て、実践したりする活動
- b 数学の事象から見通しをもって問題を見いだし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動
- c 日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動
- d 数学のよさを実感して、数学を生活や学習に生かそうとしたりする活動
- e 数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う活動

- ① aとbとc
- ② aとbとd
- ③ aとbとe
- ④ aとcとd
- ⑤ aとcとe
- ⑥ aとdとe
- ⑦ bとcとd
- ⑧ bとcとe
- ⑨ bとdとe

【選択問題 高等学校】

第5問

以下の問い合わせは、『高等学校学習指導要領』とは「『高等学校学習指導要領』（平成30年3月文部科学省告示）第2章 第4節 数学」を指すものとする。

(1) 次の文章は、『高等学校学習指導要領』における「第1款 目標」の記述である。

文中の **ア** ~ **エ** に該当する語句を、それぞれ下の a ~ e から一つ選びなさい。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に **ア** 質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を **イ** したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に **ウ** 力を養う。
- (3) **エ** を認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- | | | | |
|----------|--------|-------|--------|
| ア | a 考察する | b 考える | c 解釈する |
| | d 見通す | e 捉える | |

- | | | | |
|----------|----------|----------|-------|
| イ | a 具体化 | b 抽象化 | c 数学化 |
| | d 数学的に理解 | e 数学的に整理 | |

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| ウ | a 理解する | b 判断する | c 見いだす |
| | d 処理する | e 表現する | |

- | | | | |
|----------|-----------------|------------------|----------|
| エ | a 数学的な見方・考え方のよさ | b 数学的な見方・考え方の有用性 | |
| | c 数学の有効性 | d 数学のよさ | e 数学の有用性 |

(2) 『高等学校学習指導要領』における「第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の3において、取り組むものとして示されている数学的活動が三つある。

その数学的活動三つを含む組み合わせとなっているものを、下の①～⑨の中から一つ選ぶと オ である。

- a 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する活動。
- b 数学の事象から自ら問題を見いだし解決して、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する活動。
- c 日常の事象や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理して問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って考察する活動。
- d 積極的に数学を活用し、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする活動。
- e 自らの考えを数学的に表現して説明したり、議論したりする活動。

- ① aとbとc
- ② aとbとd
- ③ aとbとe
- ④ aとcとd
- ⑤ aとcとe
- ⑥ aとdとe
- ⑦ bとcとd
- ⑧ bとcとe
- ⑨ bとdとe

【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～4の問い合わせに答えなさい。

1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。

文中の ア ～ ウ に当てはまる語句を下の1～9から一つずつ選びなさい。

(3) 合理的配慮の決定方法・提供

(中略)

合理的配慮は、子供一人一人の障害の状態等を踏まえて教育的ニーズの整理と必要な支援の内容の検討を通して、個々に決定されるものである。(中略)

これを踏まえて、設置者及び学校と本人及び保護者により、アを作成する中で、発達の段階を考慮しつつ、次の「④合理的配慮の観点」を踏まえながら、合理的配慮について可能な限りイを図った上で決定し、提供されることが望ましい。その内容は、アに明記するとともに、個別の指導計画においても活用することが重要である。

(4) 合理的配慮の観点

合理的配慮については、個別の状況に応じて提供されるものであり、これを具体的かつ網羅的に記述することは困難であるが、中央教育審議会初等中等教育分科会報告においては、合理的配慮を提供するに当たっての観点を、①ウ、②支援体制、③施設・設備について類型化した整理が試みられている。

- | | | | |
|---------|-------------|--------|-----------|
| 1 教材・教具 | 2 年間指導計画 | 3 合意形成 | 4 指導要録 |
| 5 効率化 | 6 個別の教育支援計画 | 7 課題解決 | 8 教育内容・方法 |
| 9 障害特性 | | | |

ア
イ
ウ

2 次の文は、令和5年3月に厚生労働省より示された「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会 報告書」の一部である。

文中の **工** ～ **ク** に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、**工** 起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「**オ**」である。

(中略)

力 によって平成13年に採択されたICF（国際機能分類）では「障害」の背景因子について、**キ** 因子と環境因子という観点から説明されている。ICFにおける環境因子とは「物的環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境の特徴が持つ促進的あるいは阻害的な影響力」とされ、強度行動障害を有する者への支援にあたっても、知的障害や自閉スペクトラム症の特性など**キ** 因子と、どのような環境のもとで強度行動障害が引き起こされているのか環境因子もあわせて分析していくことが重要となる。こうした個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を**ク** していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 工 | a ごく稀に | b 夜間に集中して |
| | c 著しく高い頻度で | d 一時的に |

- | | | |
|----------|------|--------|
| オ | a 障害 | b 重複障害 |
| | c 疾病 | d 状態 |

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 力 | a UNESCO | b WTO |
| | c WHO | d IAEA |

- | | | |
|----------|-------|-------|
| キ | a 心理的 | b 行動的 |
| | c 発達 | d 個人 |

- | | | |
|----------|------|------|
| ク | a 発見 | b 決定 |
| | c 把握 | d 調整 |

3 次の文は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示） 第1章 総則 第3節 教育課程の編成」の一部である。

文中の **ケ** ~ **ス** に当てはまる語句を下の a ~ d からそれぞれ一つ選びなさい。

カ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部においては、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、道徳科、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、**ケ** 児童に履修させるものとする。また、**コ** については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

キ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部においては、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育及び**サ** の各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動については、特に示す場合を除き、**ケ** 生徒に履修させるものとする。また、**シ** については、生徒や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

ク 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科の**ス** を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。その際、小学部は6年間、中学部は3年間を見通して計画的に指導するものとする。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| ケ | a 特定の | b 全ての |
| | c 特性のある | d 希望する |

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| コ | a 外国語活動 | b 総合的な学習の時間 |
| | c 日常生活の指導 | d 社会及び理科 |

- | | | |
|----------|----------|---------|
| サ | a 技術・家庭 | b 職業 |
| | c 生活単元学習 | d 職業・家庭 |

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| シ | a 外国語活動 | b 情報 |
| | c 外国語科 | d プログラミング活動 |

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| ス | a 見方・考え方 | b 段階に示す内容 |
| | c 学年の目標 | d 配慮事項 |

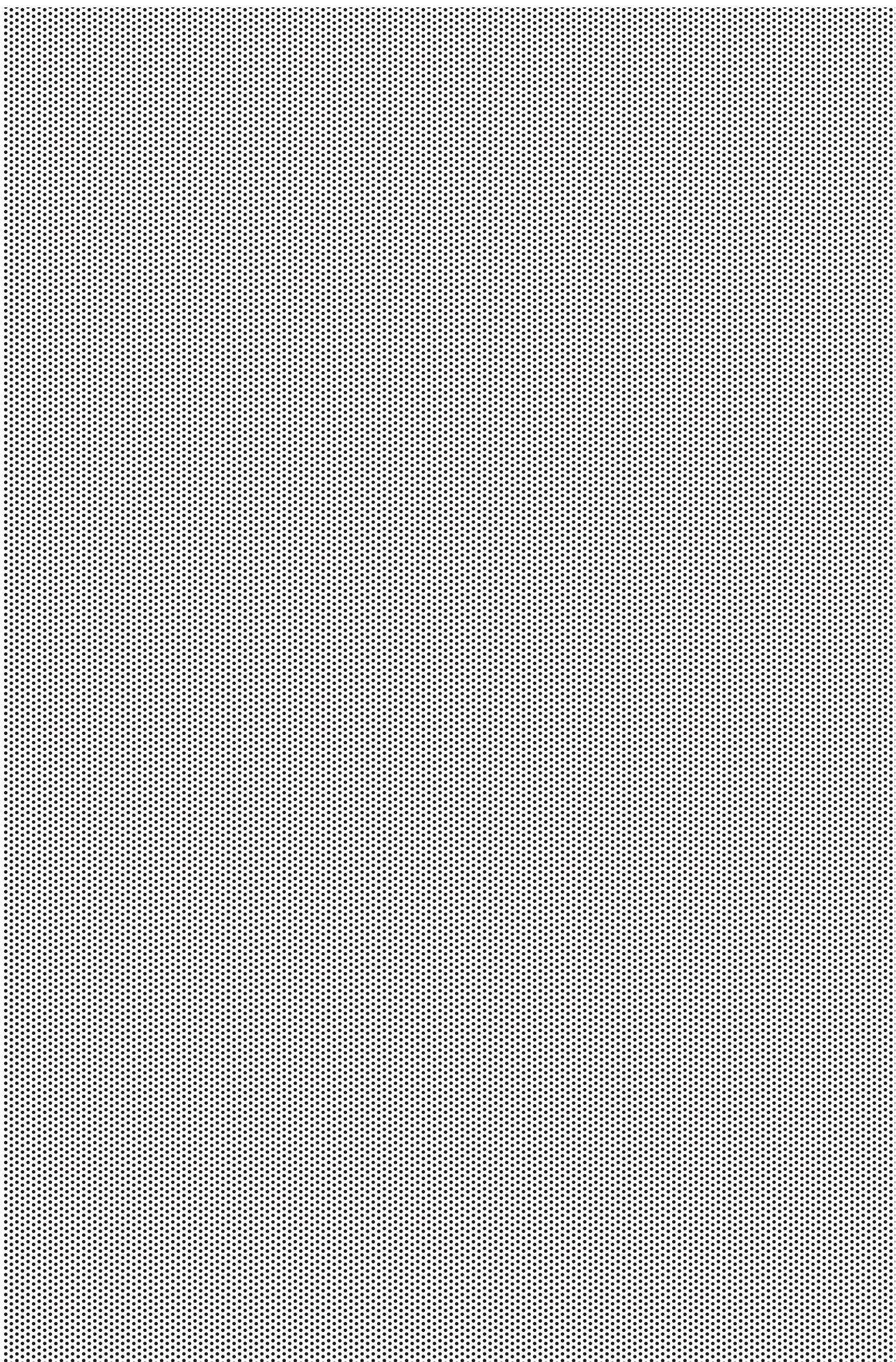
4 次の表は、令和5年度の高知県公立特別支援学校中学部、高等部（専攻科を含む）卒業生の進路状況をまとめたものである。

表中の下線部①、②の説明として正しいものを、下のa～eからそれぞれ一つ選びなさい。

	福祉的就労						その他	
	①就労継続支援		就労移行	療養介護	②生活介護	自立訓練		
	A型	B型						
高等部卒業者数	6	46	2	0	20	1	57	

- a 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行うサービス
- b 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービス
- c 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供するサービス
- d 一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行うサービス
- e 一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行うサービス

①	セ
②	ゾ



<解答上の注意>

(1) 問題の文中の解答記号 **ア**, **イウ**などには、特に指示がない限り、数字(0~9), 小数点(.), 符号(−, ±), 又は文字(a, b, c, d, e)が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …の一つ一つは、これらのいずれか一つに対応します。下の(例1)~(例3)に従って解答欄にマークして答えてください。

(例1) **アイウエオ**に12.34と答える場合

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
イ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
ウ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
エ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
オ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

(例2) **カキク**に−5bと答える場合

カ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
キ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
ク	a	■	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

(例3) 分数の解答の場合、既約分数で答えてください。また符号は分子につけ、分母にはつけないでください。

ケコに− $\frac{7}{8}$ と答えるときは、 $-\frac{7}{8}$ として解答してください。

ケ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	■	±
コ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±
サ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	−	±

なお、同一の問題文の中に、**ア**, **イウ**などが2度以上現れる場合、2度目以降は、**ア**, **イウ**のように細字で表記します。

(2) 次の(例)のように根号を含む解答の場合、根号の中の自然数は最小となる形で解答してください。

(例) $3\sqrt{8}$, $\frac{\sqrt{52}}{8}$ と解答する場合は、 $6\sqrt{2}$, $\frac{\sqrt{13}}{4}$ と解答してください。

6 筆記審査(専門教養)が終了した後、解答用紙(マークシート)のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙(マークシート)が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。